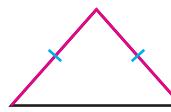


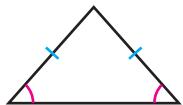
# 三角形(1)

## 二等辺三角形

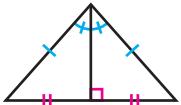
定義：2つの辺が等しい三角形を二等辺三角形という。



## 二等辺三角形の性質



① 定理：二等辺三角形の  
底角は等しい。



② 定理：二等辺三角形の  
頂角の二等分線は、  
底辺を垂直に二等分する。

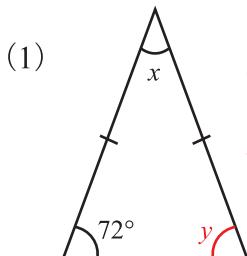
ていぎ  
定義…言葉の意味を  
はっきりと述べたもの

ていり  
定理…証明された  
ことがらのうちで、  
よく使われる大切なものの

## 二等辺三角形になるための条件

定理：2つの角が等しい三角形は、その2つの角を底角とする二等辺三角形である。

【1】次の図で、 $\angle x$  の大きさを答えなさい。

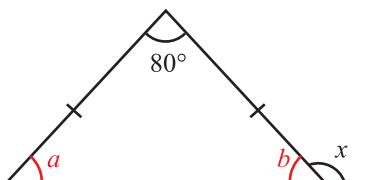


二等辺三角形の底角は等しいので、  
 $\angle y = 72^\circ$   
三角形の内角の和は  $180^\circ$  なので、  
 $\angle x = 180^\circ - 72^\circ \times 2 = 36^\circ$

答え

$$\angle x = 36^\circ$$

(2)



二等辺三角形の底角は  
等しいので、  
 $\angle a = \angle b \cdots ①$   
 $\angle a + \angle b + 80^\circ = 180^\circ$   
 $\angle a + \angle b = 180^\circ - 80^\circ$   
 $= 100^\circ \cdots ②$   
①, ②より、 $\angle a = 50^\circ$   
 $\angle x = 80^\circ + 50^\circ = 130^\circ$

答え

$$\angle x = 130^\circ$$

【2】 $AB = AC$  の二等辺三角形 ABC で、角 A の二等分線と辺 BC の交点を P としたとき、  
 $BP = CP$  であることを証明したい。次の□をうめて、証明を完成させなさい。

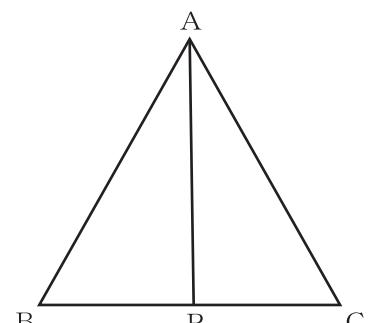
$\triangle ABP$  と  $\triangle ACP$  で、

仮定より、 $AB = \boxed{\textcircled{7} \quad AC}$   $\cdots ①$

$\angle BAP = \boxed{\textcircled{1} \quad \angle CAP}$   $\cdots ②$

また、共通な辺だから、

$\boxed{\textcircled{6} \quad AP = AP}$   $\cdots ③$



①, ②, ③より、 $\boxed{\textcircled{5} \quad 2\text{組の辺とその間の角}}$  がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABP \equiv \boxed{\textcircled{8} \quad \triangle ACP}$

$\boxed{\textcircled{9} \quad \text{合同な図形の対応する辺}}$

は等しいから、

$$BP = CP$$